

依田窪福祉会

ともしび ブダより

平成30年5月1日

発行者

社会福祉法人依田窪福祉会

理事長：渡邊 和美

編集：広報委員会

所在地：〒386-0503

長野県上田市下武石776-1

TEL.0268-85-2202

FAX.0268-41-4200

E-mail: info@yodakubo

fukushikai.jp

第79号



表紙の写真

春の訪れとともに
音楽村に
出掛けてきました

もくじ

1-2 武石

特別養護老人ホームともしび
依田窪福祉会居宅介護支援事業
寄り合い処 からさわ
ヘルパーステーションこすもす

3-4 長和

デイサービスセンター長門・鳥屋
小規模多機能型居宅介護 大門の家
グループホーム和田・橋場なごみや
デイサービスセンター和田

5 お知らせ 連絡先一覧

特別養護老人ホーム ともしび



より良い介護技術を身につける

ともしびでは、年間を通し、数々の職員研修会を行っています。

内容は、嘱託医である武石診療所の廣瀬先生を講師に招いて「看取り」に対する研修を全職員対象に行います。年間10名を超える方がともしびで最期の時を迎えます。ご家族にも見守られ安らかな最期となるよう、終末期のケアを学びます。

また、近隣の法人と連携して行っている4法人合同

研修会や長野県社協主催の研修会などに参加し、職員一人ひとりがスキルアップに励んでいます。

他にも感染症予防、事故予防、虐待防止の研修、ポジショニング(拘縮予防や生活動作をするための体位調整)の研修にも力を入れています。

30年度もともしびご利用者が安心して生活を送っていただけるよう、研鑽を重ねていきたいと思っております。



「施設長、なんでラインで送ってくれなかったんですか。オレ昨日Aさんと花見をしたばかりだったのに、最期に会いたかった。」と20歳の職員が言った。
「ラインは情報つながっちゃうからメールじゃないと。Aさん朝早くに逝ってしまったんだよ。」
「Aさん、オレに女紹介するよー、って。70歳だけどどうだって。あ〜なんか泣きそうだ。」
Aさんは3週間の入所でした。来られた娘さんは枕元にあった桜の枝を「いただけますか。」と持っていかれました。
心の琴線に触れた瞬間でした。

2月26日、この日はKYT(危険予知)訓練研修と食品衛生の研修を行いました。

依田窪福祉社会居宅介護支援事業

「相談支援事業 花もも」 始めました

昨年度の事業報告会でお話をさせていただいたのですが、居宅介護支援事業では今年度より障がいの方の相談支援事業を開始しています。

「相談支援事業 依田窪福祉社会」とする案も考えましたが、「堅苦しい。」「間違えやすい。」との意見もあり、武石地域を代表する花で長和地域にも植えてあり、時期には色とりどりの花を見せてくれる「花もも」と決定しました。名称は「相談支援事業 花もも」です。

今まで介護保険を利用される方の支援を行ってきた私たちが障がい者の方の支援をすること

は非常に難しいと考えております。研修に参加をしたり、他事業所に勉強に行きながら地域の方の役に立つことができる事業所を目指して一歩ずつ進めていきたいと考えておりますのでよろしく願います。



余里の一里花桃の里

寄り合いからさわ

児童との交流(寄り合い)

春休みに児童館の子供たちが遊びに来てくれました。自己紹介ゲームからスタート。お手玉を使用し、「あながたどこさ」を行いました。その後、児童とご利用者が2人一組になり、ちぎり絵で桜の木を作りました。最初はお互い緊張した面持ちでしたが、次第に打ち解けられ、笑顔で一生懸命作業に取り組まれていました。作品は文化祭に出展予定です。

また、かわいい1年生の元気な歌声と5年生のオカリナ演奏を聞かせていただきました。素敵な発表にご利用者と一緒にほっこりした気持ちになりました。



最後は名残惜しそうに「また来てね」と声をかけておられる姿もみられ、素敵な時間を共有させて頂きました。子供たちからも「楽しかったぁ」「また来たい」と嬉しい言葉もいただきました。

今後も、児童館のみなさんや地域の方々との交流を継続していきたいと考えております。週1回の営業日ですが、どうぞお気軽にお声掛けください。



ヘルプステーションにすもす

「ヘルパーって何やってくれるだい?!」

ご利用者より「ヘルパーって何でもやってもらえるの?」と聞かれることがあります。「窓拭きはお願いできるかい?」「買い物に連れてってもらえるかい?」「お金下ろして来てもらえないかい…」「ちょっとそこまで乗せてってもらえないかい」等々…「はい。大丈夫ですよ。」と言いたいところですが…

残念ながらヘルパーは、訪問介護計画にあるサービス以外のサービスは提供出来ないのです。

ご利用者より、「やってもらえないだな。」「決まりだから仕方ないよな。」などの言葉を聞く度に、申し

訳ない気持ちでいっぱいになっていました…

そんなこともあり、平成28年度より、依田窪福祉会では自主事業として『笑顔のお助け隊』を行っています。

例えば、病院の受診の付き添いや、窓拭き、普段使用していないお部屋の掃除など、介護保険では出来ない部分をお手伝いします。

顔馴染みのヘルパーがお手伝いに伺います。詳細は依田窪福祉会法人本部(85-2202)にお問い合わせ下さい。

自分のために

腰痛があり、歩くこともやっとこのYさん。

毎日、痛い痛いと感じていました。ある日の受診の出来事です。

Yさん「先生、こんなに痛くて、俺は1年後どうなるですか？」

医師「そうだね～寝たきりかご臨終。それと認知症ね。」

Yさん「どうすりゃいいだい。先生。手術はダメかい？」

医師「手術はできないよ。治すのは簡単。デイサービスに行けばいいんだよ。朝風呂入って温めたらいい。あと運動ね。あと頭のためにお話してきて。デイサービスって体がダメになっ
て行くと思うでしょう？違うよ。ダメにならないように行くんだよ。騙されたと思って行ってみてよ。」

医師や周囲の方に説得され仕方なく通うことになったYさん。

まずは入浴目的で半日利用が始まりました。嫌々ながらのYさんでしたが、デイ長門自慢のお風呂に喜ばれ、元気なご長寿に圧倒され、徐々に楽しめるようになりました。

3ヶ月後のYさん「デイサービスのしょーは元気だわ。みんなの話も面白れーわ。デイは俺が思ってたような所じゃなかったし、腰も良くなった。それに家へ帰ると頭がスッキリするだ。これからは自分ために通うだ。」



近頃は、「時間がかかっても自分でやる」とご自分で宣言され、活気がでて表情が明るくなりました。

デイ長門は居心地のよい場所を提供し、関わりの中でご利用者の持つ能力を引き出し、「まだまだできる」と自信をもって生活していただけるよう支援しています。



小規模多機能型居宅介護 大門の家

大門の家の自慢

前回のともしびだよりに、大門の家のサービス内容を記載させていただきました。

その後、地域の方から、「ともしびだよりに見て、良いサービスだから使いたい」と電話をいただきました。地域にはまだ大門の家を知らない方がいらっしゃいます。そんなことから、ともしびだよりで大門の家の自慢を、もっともっとアピールしていこうかと思えます。

家庭では、日曜日の昼食は外食してラーメンを食べたり、また夕食はカレーライスのメニューが多いでしょうか？

大門の家では、日曜日の利用者数が少ない事もあり、昼食はラーメンが定番になってきています。

炒めた野菜や肉、ゆで卵などもトッピングし、お店のラーメンよりも豪華???そしてもちろん味も負けていないかと…。ご利用者からも「天下一品」とお褒めの言葉をいただきました。

そばやうどんは打てる職員がいないので難しいですが、愛情こもった料理は大門の家の自慢のひとつです。

ちなみにお昼の値段は650円です。



グループホーム和田・デイサービスセンター橋場なごみや

暮らしの中の認知症



～春のお彼岸 おはぎ作り～

人にはそれぞれの暮らしがあり、その暮らしは、その方の性格や生き方・環境などの様々な要素が相互しあって成り立っています。

認知症である前に、一人の人であり、様々な暮らしがそこにはあります。

グループホーム・橋場なごみやでは、色んな方が協力して、お互いに支え合いながら生活しています。

支えてもらうだけじゃなく、その方の役割がここにはあります。いつまでも、「あるがまま」に暮らせる場を提供してゆきます。



「何買おうかしら～♪」



私に出来ることは手伝うよ!
ごまもきな粉もたっぷりかけて!



避難訓練を行いました。



自分たちでおやつ作り!!
まるで婦人会のようなですね。

デイサービスセンター和田

習慣を続けましょう

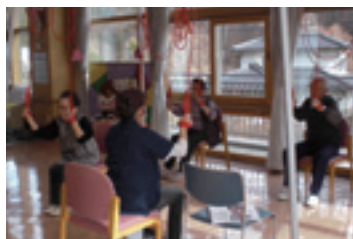
「朝、必ず何をしますか?」との問いかけに、「カーテンを開ける…」「トイレに行く…」「顔を洗う…」などなど。当たり前のことですが、その習慣というものがとても大切だそうです。

「あたしは、お父さんに『今日はデイサービスの日だから行って来るよ』って、仏壇に手を合わせてから来るんだよ」というSさん。家から一歩出かけるという習慣は、たくさんの刺激を受けます。「家にいるより、ここでみんなといると時間の経つ

のも忘れるよ」 高齢になるにつれて、誰もが日々の暮らしの日常的な動作に不安を感じるが増え、行動範囲がぐっと狭まってしまいます。いつもの習慣が少しずつ減ってきたかな?と思ったら、いつでもご相談ください。デイサービスを習慣にして生き活きたした生活を送って頂きたいと思います。

デイサービスセンター和田では、レッドコードやボールなどを使った予防体操を取り組んでいます。

このたび丸子修学館高校の美術部皆さんによるデザインの看板が立ちました。生徒の皆さんをお招きしてのお披露目会で交流もできました。優しさにあふれたデザインですので、皆さまお見知りおきください。



レッドコード体操で身体を動かそう 思いの込められた看板ができました

地域の皆さんの力を

地域の福祉に活かせませんか？

ボランティア募集

好きなこと、得意なことを活かしてみませんか？

特養ともしび

シーツ交換、食事の準備、外出支援、
園芸、野菜作り、踊りや音楽の演奏会

日時をご相談ください

電話:85-2218 担当:森



デイ長門・デイ和田

公園の散歩の付き添い、
将棋がさせる方、お話し相手、
手芸ができる方 等

日時をご相談ください

電話:68-0226 デイ長門・担当:大島

88-0077 デイ和田・担当:堀



職員募集 (介護・看護)

ともしび

正規職員(介護)
夜勤ができる方



デイサービスセンター長門

日勤パート(看護)
1日4時間、週3日から

※当法人規程による

希望される方は法人本部(電話85-2202)

担当西澤までお問い合わせください。



ご寄附ありがとうございました。

2名の方より、ご寄附をいただきました。

社会福祉法人 依田窪福祉会 事業別連絡先一覧

●法人本部 ☎85-2202

[E-mail] info@yodakubofukushikai.jp

[U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/

●依田窪特別養護老人ホーム } ☎85-2218

●短期入所生活介護事業

●依田窪福祉会居宅介護支援事業 } ☎85-2047

●相談支援事業 花もも

●ヘルパーステーションこすもす ☎85-0098

●寄り合い処 からさわ ☎85-2115

●デイサービスセンター 長門 ☎68-0226

●デイサービスセンター 鳥屋(宅老所) ☎85-0010

●小規模多機能型居宅介護 大門の家 ☎41-2123

●デイサービスセンター 和田 } ☎88-0077

●高齢者生活福祉センター

●配食サービス事業 あやちゃん弁当

●グループホーム和田 } ☎88-0088

●デイサービスセンター橋場なごみや